

「ジェネリック医薬品」の効き目は？ 副作用は？

- ★これまで述べたように、「ジェネリック医薬品」は「先発医薬品」の有効成分と同じ成分の医薬品ですから、基本的には「おなじもの」とされます。しかし、ほとんどの薬には効き目や安定性など全体のバランスを調整するために“添加物”が含まれており、「ジェネリック医薬品」ではこの添加物の成分が違う場合があります。正確には「先発医薬品」とは微妙に違うものともいえます。
- ★実際に「ジェネリック医薬品」に変更処方してみて、患者さんから「どうも効きが悪いようです…」と指摘されることや、「薬疹（皮膚のブツブツなど）の副作用が出ました」などといったこともあります。薬が変わったことによる「気のせい」という場合もありますが、十分に気をつけるべきことでもあります。
- ★したがって、「ジェネリック医薬品」に変更を希望される場合には、主治医に十分に相談をされ、納得して変更されることをお勧めします。主治医の先生は経験に照らし合わせてあなたにもっともふさわしい処方をしてくれます。

「ジェネリック医薬品」で注意することは？

- ❖ 「ジェネリック医薬品」への変更を希望されても、製造販売されていない薬もあります。先発医薬品の製造開始後、約10年がたっていないと「ジェネリック医薬品」は出てきません。また製薬会社も収益が上がる（人気がある）医薬品しか「ジェネリック医薬品」を作りません。恥ずかしがらずに主治医に相談しましょう。
- ❖ 成分が同じでも、病気が異なる場合は、「ジェネリック医薬品」への変更ができないことがあります。
- ❖ 「ジェネリック医薬品」にはたくさんの種類があります。薬局に指定の「ジェネリック医薬品」の在庫がない場合は、薬を用意するのに時間がかかる場合や変更ができないことがあります。これも主治医や薬局の薬剤師に相談されてください。

外来診療日変更のお知らせ

平成 23 年 4 月から、診療日を下記のとおり変更します。

循環器科

変更前	変更後
毎週火曜日	毎週水曜日

井無田診療所

変更前	変更後
毎週火曜日	毎週水曜日

お薬 ひとつ

薬は、かならず1個ずつ包装から取り出して飲みましょう。



※薬を包装のまま飲み込んでしまい、内視鏡で摘出しなければならなくなるといった事例が毎年報告されています。



蘇陽病院だより

～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します」

特集

もっと知りたいくすりの話

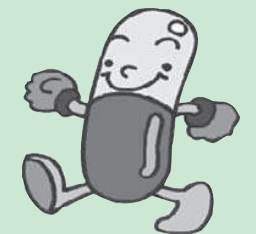
第1集 「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」についてご存知ですか？

山都町立蘇陽病院 薬剤科 奥村真利子
水本知恵子
奥村 千春
監修 院長 水本 誠一

「良薬は口に苦し」とか「酒は百薬の長」などのことわざがたくさんあるように、古くから薬は私たちの生活にとって切っても切り離せない身近なものです。江戸時代までは医者の方は「くすし（薬師）」と呼ばれていたくらいです。しかし、利用される皆様にとっては、意外とわからないことが多いのも「薬」の特徴です。そこで新たな特集として、薬についてわかりやすく解説していきます。

はじめに

病院や調剤薬局で皆さんがもらう薬は、大きく「先発医薬品」と「後発医薬品（以下ジェネリック医薬品）」に分けることができます。最近ではテレビなどでも薬のコマーシャルが増えてきたので「ジェネリック」という言葉も良く耳にするようになり、また病院などでも、「ジェネリック希望」と書かれたカードも目にすることも増えてきました。



「先発医薬品」と「ジェネリック医薬品」の違いは？

- ★「先発医薬品」は、製薬会社で新しく開発され、厚生労働省で認可され、初めて販売された薬のことを言います。開発には、十数年の年月と数百億円の費用が必要とされ、しかも開発されたもののうち医薬品として有効性が認められ販売までこぎつける薬は、ほんの一握りといわれています。「新薬」として認められた「先発医薬品」は、ある一定期間（約10年間）、独占的に製造販売する権利（特許）と開発費に見合った薬価（薬の値段）が国から与えられています。したがって、新薬、先発医薬品は高価な薬ということになります。
- ★一方「ジェネリック医薬品」は、「先発医薬品」の特許が切れたあと、他のメーカーが製造法を習得して作り、国が「同じ成分の薬」「同等の薬」と認めた医薬品のことを言います。したがって「先発医薬品」に比べて、開発研究にかかる費用があまりかからないので、薬の価格（薬価）は格段に低くなるのが特徴です。
- ★たとえば、痛み止めの薬（成分名ロキソプロフェンナトリウム）。先発医薬品であるロキソニン（第一三共製薬）は一錠20.3円であるのに対し、ロブ（旭化成ファーマ製薬）、ケンタン（沢井製薬）、ロルフェナミン（日医工製薬）など20種類ほどある「ジェネリック医薬品」では、一錠約6.8円となっています。